

平成29年度 信濃町立信濃小中学校グランドデザイン

<信濃町教育大綱>

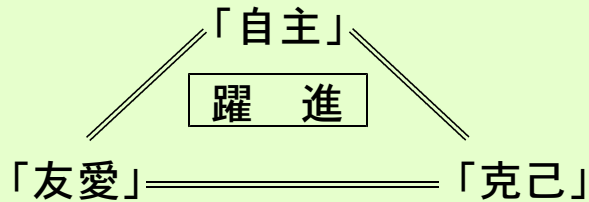
基本理念「未来を拓く深い豊かな学びの創造」

- ①全国に誇れる質の高い教育環境づくり
- ②文化の薫り高いまちづくり
- ③多様な学習ニーズと世代間交流を促す環境づくり
- ④地域全体で子どもを守り、育てる教育環境づくり
- ⑤スポーツ活動が充実したまちづくり
- ⑥共に生きるまちづくり
- ⑦安心して子どもを産み育てることのできる環境づくり



基本理念「信濃町に誇りをもち、次代を担う人材の育成」

<学校教育目標>



目指す児童・生徒の姿

- (1)「自主」：夢の実現に向けて追究し続ける児童・生徒
- (2)「友愛」：命と仲間を慈しむ児童・生徒
- (3)「克己」：粘り強く最後までやり遂げようとする児童・生徒



平成29年度の重点目標と具体的な方策

(1) 学ぶ意欲が高まる学習環境づくりと学力の向上

具体的な方策

- ①子どもの学ぶ意欲を高めるための9年間を見通した学習過程のあり方を探ります。
- ②みとどけの時間の確保、授業のめあてとまとめの提示、授業の見通しの提示、友との学び合いが生まれるペア学習・グループ学習の導入をします。
- ③家庭と連携して家庭学習の改善に取り組み、「家庭学習スタートタイム」を設定します。
- ④朝読書を通して落ち着いた気持ちでのスタートを、朝ドリルを通して集中・継続・最後までやり遂げるの心構えを、それぞれ位置づけます。
- ⑤年間を通じて読書を大切にし、本に親しみ、本を愛する学校を目指します。



目指す教師像

・授業改善（ねらい・めりはり・みとどけ） ・研修の推進 ・職員間の授業参観の定例化 ・同僚性の発揮 他

(2) 相手意識を大切にされた温かな人間関係づくりと特別支援教育の充実

具体的な方策

- ①友と励まし合いながら、様々な価値観を受け入れられるようにして自他の良さを認め合える集団を作り、いじめ・差別をなくします。
- ②挨拶の心、思いやりの心、感謝の心をもつ意識し、人権感覚を高めます。
- ③集団不適合のある児童生徒、特別支援学級入級児童生徒等が安心して生活できる集団をつくります。
- ④5年生から部活動に参加し、9年生まで継続して取り組み、やり遂げようとする姿を支援します。
- ⑤水曜日昼休みに集会（音楽集会・児童生徒集会等）や異学年交流を定例化します



(3) 地域と共に歩む学校

（信州型コミュニティスクールの推進）

具体的な方策

- ①地域を学び、地域で学び、地域に学び、地域と共に学ぶ「ふるさと学習」を進めます。
- ②地域の「人・もの・こと」に学びながら、進んで地域について追究します。
- ③地域の方と共に自分や学校、信濃町の現在・未来について積極的に考えます。
- ④興味関心に基づき、最後まで根気よく追究できるように、醸成する時間を大切に考えます。
- ⑤職員それぞれがコーディネーター役として動き、情報交換や連絡調整をして、児童生徒の活動がスムーズに行われるようにします。



振り返りと検証 (PDCA)

- ①見通しをもった計画立案。
- ②全職員で実施。
- ③児童生徒の育ち・課題の確認。
- ④次への生かし方の検討。



校長の願い

「生きて働く力を身につけさせる」

- ①学力の向上（学習内容を確実に定着）
- ②相手意識をもった言動（人権感覚を磨き合う集団）
- ③耐える力（困難に立ち向かい乗り越えていくたくましい姿）



地域の支え

学校運営協議会 しなの学校応援団 授業支援 行事支援 児童生徒会支援 読書活動支援 部活動・クラブ活動支援 登下校支援（交通事故、大雪・大雨等の災害、野生動物、不審者等からの安全確保）他